

認知症の相談・話し合い・情報交換ができるカフェ

オレンジカフェ静岡

10月18日 午後2時～4時 オンラインで行います

10月もオンラインカフェを行います

事前にパソコン・スマホの講習会を開きます

簡単です！ぜひオンラインカフェにご参加を

皆様、こんにちは。朝夕、急に寒くなりましたがいかがお過ごしでしょうか。

9月のオンラインカフェは、約20名の方が参加して、簡単な自己紹介から始まり、グループに別れておしゃべりをしました。オンラインでは、それぞれのお顔を一人一人拝見でき、実際のカフェとはまた別の親しき、楽しさを発見しました。スマホかパソコンをお持ちの皆様は、次の日程で、会場においてスタッフによるオンライン講習会を開きます。簡単な操作で、オンラインに参加

三浦繁雄さんが県の希望大使に

日本認知症本人ワーキンググループの一員として活躍されている三浦さんが、九月に県の希望大使に任命されました。認知症のことを知ってもらうには、本人からの情報発信が欠かせないとして、大使の仕事を委嘱されました。

三浦さんは、オレンジカフェ静岡のボランティアとしてご活躍いただいています。

三浦さんは、「認知症は、なつては困る病気

できます。ぜひ講習会にいらしてください。

パソコンは、会場に用意があります。

十月十五日（木）午後二時から三時半

十月十六日（金）午前九時半から十一時

場所 城東コミュニティプラザ Happy Shop

講習会申し込み 事前に電話、またはメールで

申し込んでください。（ニュース二面下に）

オンラインカフェの参加は、メールで十月十六日までに申し込みをお願いします。

ではなくて、誰もがなりうる病気、そのことを伝えて、一緒に地域の中で生活できることを伝えていきたい」と言われています。三浦さんは今後、県のイベントや広報誌などで体験談を紹介するほか、認知症の人と家族を手助けするサポートの養成講座で講師を務めるなどされます。

オンラインカフェでは楽しくお話ししながら、いろいろ参考になるお話を伺いましょう。

オンラインカフェで

絵本タイム誕生!?

上藤美紀代さん

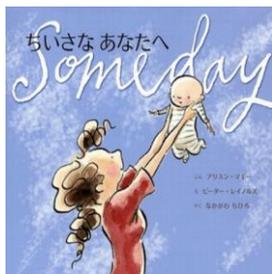
絵本専門士
NPO 法人事務局長

東京都健康長寿医療センター研究所の藤原佳典氏は、第21回日本認知症ケア学会で「絵本の読み聞かせは発声や滑舌の訓練になるだけでなく、ストーリーをイメージしながら絵本を音読するため「エピソード記憶」が鍛えられ、「時間の見当識」も身に付く。聞き手の様子を見ながら読むという「注意分割機能」も強化。聞き手を前にして行う実演で適度な緊張感を味わえ、コミュニケーションも図れる」などと発表しました。

このような情報を得たら、絵本専門士である私が動かないわけには参りません!?! 誰でもが読みやすく、じわじわと心にしみる本を2冊紹介させていただきます。



作・絵: いたう ひろし
出版社: 講談社



作: アリスン・マギー
絵: ピーター・レイノルズ
訳: なかがわ ちひろ
出版社: 主婦の友社

『だいたいぶ だいたいぶ』(作・絵: いたうひろし/講談社)、『小さなあなたへ』(作: アリスン・マギー、絵: ピーター・レイノルズ、訳: なかがわちひろ/主婦の友社)

読み終えた後、何より嬉しかったのが、何人かの方が「私も読み語り、やってみようかな」と呟いてくださったこと! 今後、できる限り絵本を紹介して参りますし、「絵本の読み語り実践講座」もやりましょう! お気に入りの絵本に出会い、誰かに読んで差し上げませんか? 私にとっても新たなチャレンジ。一緒に、楽しく「試行錯誤」いたしましょう。

十月も2冊ご紹介いたします。お楽しみに。

お知らせ

♥十一月はSPAC(静岡県舞台芸術センター)の俳優さんがオンラインカフェに登場します。ご期待ください。
♣十一月のカフェは、二十二日(第四日曜日)に開催します。
♠毎回、看護師、ケアマネ、社会福祉士、介護福祉士、臨床心理士等が参加して一緒に語り合い、また皆さまからの質問や相談に応じています。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo (ハピスポデイ和かな)

会場提供・共催

社会福祉法人 静和会

主催 NPO 法人
ヒューマンケア・支援機構

連絡先 ☎ 090-5620-6070
✉ orange@npo-humanicare.jp



バスでお越しの場合、静岡駅北口から、5、6番のすべてのバス。横内町静岡学園前下車。徒歩5分。